

試験当日および受験時の注意事項

1. 各試験会場とも、午前 8 時 30 分から入場できます。各試験会場には交通の状況を考慮して時間に余裕をもって到着するようにしてください。
2. **午前 9 時 30 分までに入室してください。**
3. 各時間の試験開始後、試験室に 30 分以上遅刻して入室した場合は受験できません。
4. **受験票は必ず各自で印刷して持参し、試験場内では常に携帯してください。**
5. 試験会場は、受験票と試験会場案内図で確認し、間違えないようご注意ください。
6. 机の上に置ける物は、印刷した受験票（A4 サイズ縦向き）、筆記用具（ボールペン・色鉛筆・マーカーは不可、黒鉛筆・シャープペンシルは可）、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可）、眼鏡、下敷き（ただし、下敷き使用の場合は、試験監督者の許可を得てください）、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）、目薬です。そのほかは使用できません。なお、ひざかけの使用は認めますが、不正行為防止のため試験監督者が頻繁に巡回することがあります。
7. 定規、コンパス、電卓、電子辞書（時計、ボールペンなどと併用するものを含む）、耳栓、イヤホンは使用できません。
8. 携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス）等の電子機器類は、試験室では電源を切ってカバンにしまってください。身につけている等の場合、不正行為として取り扱う場合があります。
9. 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでいただくことがあります。
10. 試験当日、天候等やむを得ない事情により、試験開始時刻を変更することがありますので、予めご了承ください。
11. 試験開始後の途中退室は認めていません。ただし、気分が悪いなど身体の調子がよくない場合は試験監督者に申し出てください。なお、救護室での受験はできません。
12. 受験の際は、すべて試験監督者の指示に従ってください。試験監督者の指示に違反したとき、または不正行為を行ったときは退室させることがあります。
13. 試験時間中に試験監督者が写真票と受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、不正行為防止のため、一時的に外すよう試験監督者が指示することがあります。また、髪の毛が耳にかかっている場合、耳元がはっきり見えるように指示することがあります。
14. 教室では受験票に記載している受験番号と机上札を確認のうえ、席を間違えないように着席してください。席を間違えて受験した場合は、欠席扱いとなる場合があります。
15. 試験日当日、印刷した受験票を忘れた場合は案内の係員または入試本部に申し出てください。
16. 各試験会場とも、昼食を持参してください。

試験当日の試験会場周辺での「試験問題正解」や住居斡旋などは本学とは一切関係ありません。申し込みにより発生した事故やトラブルには、本学では一切責任を負いませんので、十分注意してください。

不正行為について

受験の際は、すべて試験監督者の指示に従ってください。

受験生による以下の行為は、不正行為として取り扱われます。

- ・受験生以外の者が、受験生本人になりすまして試験を受けること。
- ・試験時間中に、カンニングペーパー、参考書、他の受験生の答案を見ることや、他の人から答えを教わることをすること。
- ・試験時間中に答えを教える等、他の受験生を利するような行為をすること。

また、以下の行為をすると、不正行為として取り扱う場合があります。

- ・印刷した受験票の裏面・余白等には書き込みをすること。
- ・試験時間中に、使用が認められていない用具を使用して解答すること。
- ・試験監督者の試験開始の指示の前に、問題冊子を開き、解答を始めること。
- ・試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- ・試験室において、他の受験生の迷惑となる行為をすること。
- ・試験時間中に、携帯電話（スマートフォンを含む）や携帯音楽プレーヤー、イヤホン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス）等を身につけている、または机の上に置いていること。

- ・試験時間中に、携帯電話（スマートフォンを含む）・時計・携帯音楽プレーヤー・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス）の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴らすこと。
- ・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験の実施中に不正行為が認められた場合、試験監督者が直ちに注意し、試験の中止・退室を指示することがあります。事情の聴取など、不正行為の疑いに対処した時間があっても、その受験生は、試験時間の延長を求めることはできません。なお、不正行為を行った受験生については、当該年度の一般選抜入学試験の受験の全てを無効とします（入学検定料の返還はいたしません）。

入学試験実施に際しての対応について

入学試験の実施に際し、以下のような対応をとる場合がありますので、予めご了承ください。

1. 受験環境について

できる限り、公平で静ひつな受験環境の確保に努めますが、やむを得ず、以下のような対応をとることがあります。

①生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音等）に対して、特別な対応はしません。

《生活騒音の例》

- ・風音、雨音、雷鳴
- ・航空機、自動車、バイク、鉄道の騒音
- ・通過する緊急車両のサイレン
- ・工事の音
- ・廃品回収や物売りの類、およびイベント・選挙等のアナウンス
- ・動物の鳴き声
- ・空調や照明等、試験会場となる施設が通常発する音
- ・他の受験生の発する音（咳、くしゃみ、ためいき、^{はな}涙をすすめる音、筆記具を使用する際の音等）

②試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のカバンなどが特定できた場合、持ち主の同意なく試験監督者が試験室外に持ち出し、入試本部で保管することがあります。

③試験室の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いなどは、合否判定の際、一切考慮いたしません。

④試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。

⑤隣席の受験生の用便や、体調不良による入退室等、試験実施上やむを得ないと判断した場合には、試験監督者の指示により、席を立っていただくことがあります。またその場合でも、試験時間の延長はいたしません。

⑥他の受験生に迷惑と判断される行為がある場合は、不正行為とみなすことや別室受験を指示するなどの措置を講じることがあります。

2. 不可抗力による事故等について

自然災害（大雨、大雪、地震、津波、台風、洪水等）、火災、停電、感染症またはその他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験生負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

3. 受験生への連絡について

上記2.の措置をとる場合の受験生への連絡は、基本的に本学ホームページ上で行います。

4. 感染症について

試験当日、学校保健安全法での出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、風しん、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し治療していない場合は、他の受験生や試験監督者等への感染の恐れがありますので、受験をお断りすることがあります。試験当日の体調管理については十分に注意してください。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をお断りした場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還はいたしません。